



啐啄もったく

126号

平成29年6月7日発行

<http://www.city.osakasayama.osaka.jp>

gakkou@city.osakasayama.osaka.jp

大阪狭山市教育委員会学校教育グループ



次期学習指導要領がめざすもの

大阪狭山市教職員研修

5月18日(木)に大阪狭山市教職員研修『次期学習指導要領がめざすもの』を開催し、市内小中学校から各校2名(管理職と学力向上担当等)計20名が参加しました。

大阪府教育センターから講師を招き、「次期学習指導要領の方向性について理解し、資質・能力の育成をめざす授業づくりの在り方を考える」「カリキュラム・マネジメントの意義と必要性和組織的に取り組む評価を生かした授業改善の視点について理解を深める」という目的でお話していただきました。

その中で、「次期学習指導要領のポイントは?」「今求められる資質・能力の育成をめざした授業改善で重視すべき視点は?」という2点について少人数で話し合った後、全体で交流しました。

また、研修の後半では中学校区ごとに集まり「授業改善を進めるにあたって」というテーマで話し合いを深めました。最後の全体交流では、大阪狭山市の授業改善の視点についてお互いに共通理解を深めることができ、とても有意義な研修になりました。

小学校の外国語活動

次期学習指導要領では、小学校「3・4年生の外国語活動」と「5・6年生の外国語」が導入されます。市内の小学校でも、平成32年度の完全実施に向けての取組を進めております。

右の写真は、東小学校4年生の外国語活動の様子です。東小学校では外国語活動担当教員と学級担任が、大阪狭山小学校英語活動支援の会の方のサポートを受けて授業を行っております。英語を通して言葉や文化についての理解を深め、コミュニケーションを図る素地となる力と積極的な態度を育てることをめざしています。

また、5・6年生では狭山中学校の英語科教員やALTも加わって、楽しい外国語の授業を工夫しております。

『体力向上研修会』

新体力テストの実践に向けて

5月11日(木)に新体力テストに向けての『体力向上研修会』を東小学校で開催し、市内小学校の教職員約50名が参加しました。講師は和歌山大学教育大学教育学部の本山貢先生です。

最初に、体力テストで子どもの持っている本当の能力を知ることの大切さについてお話がありました。そして、事前に「ワンポイントアドバイス」を実践することによって、子どもたちの本来持っている力を引き出すことができることを、過去の検証結果も参考に説明されました。また、体力テストの安全・正確な実践に向けて、良い実践例・悪い実践例のVTRも使って分かりやすく指導していただきました。

本山先生には、8月9日(水)に大阪狭山市保幼小中学校園の全教職員対象のタイムリー研修でも、『子どもの体力づくり』のご講演をしていただく予定です。



新体力テスト

体力は学力とともに、子どもたちの将来において大切な力であり、健康な生活を送るためにも欠かせないものです。大阪狭山市では、子どもたちの体力の状況を把握分析し、体力向上のためのPDCAサイクルを確立し、学校における体育指導に役立てるため、小中学校全学年で安全・正確な測定を工夫しながら実施しております。



立ち幅とび(第七小)



ソフトボール投げ(南三小)



反復横とび(東小)



上体起こし(狭山中)

さやまチャレンジランキング

大阪狭山市では、児童・生徒の運動遊びの機会を増やし、体力向上と集団作りを図るため、『さやまチャレンジランキング(大縄とび)』を今年度も実施しております。このチャレンジランキングでは、大縄を使った「全員とび」「8の字とび」の2種目を設定し、市内小中学校の児童・生徒がクラス単位で3分間挑戦した記録を教育委員会のホームページに掲載し、市内ランキングを公開するとともに記録の良いクラスを表彰します。

すでに2つの小学校がランキング挑戦をスタートしました。

南第一小学校では5月11日の朝から「大縄チャレンジ」を始めました。クラスで2種目のどちらかを選んで挑戦し、クラスごとに記録を発表しました。

南第三小学校では5月19日の朝から「ジャンプアップチャレンジ」を始めました。全クラスが8の字とびに挑戦しました。

他の小中学校もこれから続々と参加予定で、どんな記録が出るか今後が楽しみです。



南一小 大縄チャレンジ



南三小 ジャンプアップチャレンジ

がじゅまるカフェ

5月23日(火)

大阪狭山市の教育の芽や根や幹が、がじゅまるの樹のように大きく深く育つことを願って、4年前から市教委と校長会が共催で実施している自主研修会『がじゅまるカフェ』今年度の第1回目が南第一小学校で開催され、小中学校に勤務する経験の浅い先生方約30名が参加しました。



講師は昨年に続いて大阪教育大学岡田耕治先生で、今日のテーマは「授業づくりの基本技」です。若手教員が生徒になって「俳句」の模擬授業を受けました。まず、個人でオリジナル俳句をつくり、それをグループ内で披露し、お気に入りを選び合います。その後、選んだ句を「〇〇だからみんなから選ばれたと思います。」という言い方で全体に発表します。

模擬授業終了後、各グループに校長・教頭・指導主事が入り、今日の授業についての振り返りをしました。生徒の立場になって授業を受けることによって、日頃の自分の授業を改めて見つめなおすよい機会となりました。



連合運動会

6月1日(木) 市民総合グラウンド

快晴の空の下、6月1日に市民総合グラウンドで小学校連合運動会が行われました。市内7つの小学校6年生が、赤組(狭山中校区)・白組(第三中校区)・青組(南中校区)に分かれて、競い合い、応援し合います。

開会式の学校紹介はそれぞれの楽しい工夫が見られ、最初の種目「ダンス」のジェンカを踊る頃にはすっかり打ち解けたようでした。当日までに中学校区ごとに実施した交流会の成果がうかがえます。



開会式(学校紹介)

午前の競技は①100m走(男子)②騎馬戦③玉入れ④100m走(女子)⑤綱引き(予選)で、午後の競技は⑥二人三脚リレー⑦しっぽとり⑧綱引き(決勝)⑨800mリレーです。



騎馬戦

競技が進むにつれて、応援にもどんどん熱がこもり、小学校の枠を越えた仲間意識も高まります。

そして午後、各チームは優勝めざして一層盛り上がり、閉会式へ。最後はお互いの健闘をたたえ合い、大阪狭山市の小学校6年生全員の『つながり』を感じられた一日になりました。



綱引き(決勝)

自己肯定感を育む教育実践

大阪狭山市では、発達障がいのある児童生徒の早期支援について、医師や学識経験者等の指導を受けながら研究をしています。そして、通級指導教室などで課題を克服する指導を通して、一人ひとりの子どもの自己肯定感を高めたいと考えています。しかし、その効果を丁寧に把握するにはどのような方法がよいのかという課題がありました。

そこで、梅花女子大学心理こども学部の福井斉先生を講師に「自己肯定感を育む教育実践」についての研修会を5月25日(木)に開催し、各小中学校から管理職・支援教育コーディネーターが参加しました。



研修では、①自己感情と自己概念・②自己肯定感を育む教育実践例・③子どもから自己肯定感を測定する際の注意点、について指導していただき、今後の取組みにとっても参考となる研修でした。